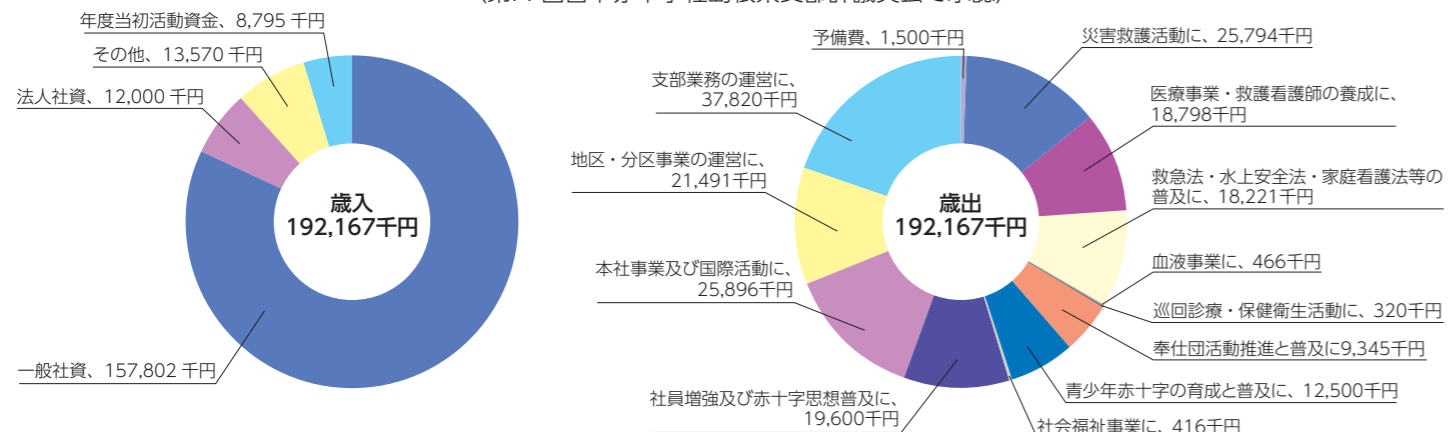


県民のみなさまへ
ご報告いたします

日本赤十字社島根県支部 平成23年度予算

(第77回日本赤十字社島根県支部評議員会で承認)



※歳入にある「社資」とは、赤十字社員のみなさまから寄せいただく「社費(年額700円以上)」と「寄付金」の総称です。
 ※歳入における一般社資収入及び法人社資収入には、松江赤十字病院改築工事に係る「特別寄付金」が含まれています。
 ※赤十字病院、血液センター、乳児院は施設毎の会計になっており上記予算には含まれません。(表中の「血液事業」、「医療事業」、「社会福祉事業」には、献血思想普及のための経費や、県内赤十字病院での災害救護のための看護士養成事業や医療社会活動、子育て支援事業等にかかる経費を計上しています)

赤十字へのご支援ありがとうございました。

赤十字活動資金(社費・寄付金)に対して

[平成22年8月3日～平成23年2月28日 日赤島根県支部受付分]
 赤十字活動資金(社費・寄付金)に対してご協力をいただきました。紙面の都合上すべてのみなさまをご紹介できかねることをご了承ください。
 *3万円以上・敬称略・受付順

- (株)山陰合同銀行 松江土建(株)
- (株)環境理化学研究所
- 島根県民共済生活協同組合 (株)森本建設
- 遠藤慶太郎 新田俊之 生田昌子
- 赤水照子 川村敏美 秀蕊気光研究会 長嶋修子
- 高木義晴 佐々木 豊

○お香典からのご寄付
 三島一徳

国内外の災害等に対して ~国内義援金・海外救援金受付状況~

[平成22年9月1日～平成23年3月15日 日赤島根県支部受付分]
 国内義援金は被災した地域の日赤都道府県支部を通じて被災者のもとへ、海外救援金は国際赤十字を通じて、被災者の救援活動に役立ててまいります。

国内	東北関東大震災義援金	61件	8,804,144円
	平成22年10月20日の 奄美地方大雨災害義援金	18件	266,672円
	年末義援金(県内児童福祉施設へ)	31件	556,730円
海外	ニュージーランド地震救援金	4件	51,005円
	ハイチ地震救援金	2件	52,000円
	地雷犠牲者救援金	1件	11,034円
	青少年赤十字1円玉募金	8件	77,545円
	(アジアの子どもたちへ文具を)		
	NHK海外たすけあい義援金	449件	1,676,404円
	(世界各地の紛争や自然災害などに苦しむ人々のために)		



NHK海外たすけあい義援金に募金して下さった育英幼稚園のみなさん

受章者のご紹介

[平成22年9月1日～平成23年2月28日 敬称略・順不同]
 日本赤十字社では、一定額以上の寄付(社費、寄付金)をされたみなさまに対し、感謝状等をお贈りしております。赤十字へのご支援、ありがとうございました。

- 日赤金色有功章 赤水照子
- 日赤銀色有功章 島根県民共済生活協同組合



金色有功章(個人 勲章) 金色有功章(法人 楯) 銀色有功章(個人・法人共通 楯)

『島根の赤十字 第69号』をご覧ください

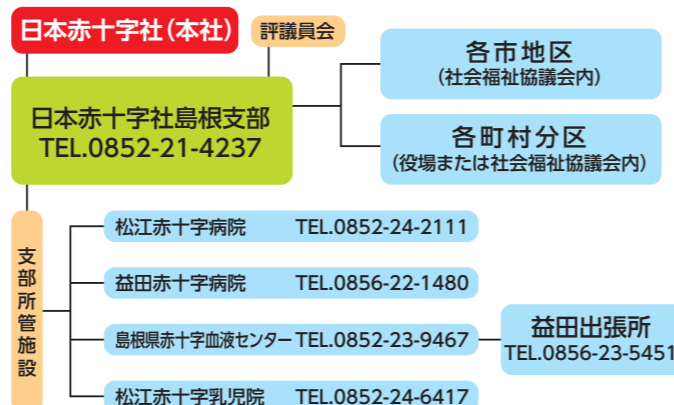
赤十字メモ・ボールペンセット プレゼント

「赤十字メモ・ボールペンセット」を抽選で15名のみなさまへプレゼントいたします。
 官製ハガキに下記の問題の答え、本紙の感想、郵便番号、住所、氏名、電話番号をご記入の上、プレゼント応募券(左下)を貼り、ご応募ください。メモのサイズ:9×12.7cm

問題 赤十字社のネットワークは、現在世界〇〇〇カ国に広がっている?
 【〇】に入る数字をお答えください。『〇〇〇カ国』

【応募先】〒690-0873 松江市内中原町40番地 日本赤十字社島根県支部プレゼント係
 ※応募の際に記入いただく個人情報は、プレゼント抽選・発送のためにのみ使用し、第三者へ提供することはありません。

赤十字の組織と各施設



赤十字七原則
 人道中立 単一世界性
 公平独立 奉仕

島根の赤十字



日本赤十字社島根県支部 マスコットキャラクター あいたん

日本赤十字社 島根県支部
 〒690-0873 松江市内中原町40番地
 TEL(0852)21-4237 FAX(0852)31-2411
 ホームページ <http://www.shimane.jrc.or.jp/>

2011.4.1
 第69号

5月は赤十字運動月間です。



赤十字は世界の国々が締結している国際条約に裏打ちされた人道支援の組織で、世界186カ国にあります。

赤十字の活動は、赤十字社員のみなさまからの「社費(年額700円以上)」と「寄付金」に支えられています。今年もご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

赤十字の創始者アンリー・デュナンの生誕日が5月8日。日本赤十字社の創立日が5月1日。日本赤十字社では、赤十字にゆかりの深いこの5月を「赤十字運動月間」として、赤十字活動への理解と協力を呼びかけるキャンペーンを全国で行っています。

県民のみなさまへ 日本赤十字社島根県支部長

3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により発生した大津波は未曾有の大惨事となっていることは、みなさまご承知のとおりであります。誠に声もありません。被災をされた方々、ご家族のみなさまには、心よりお見舞いを申し上げます。またご冥福をお祈りする次第です。
 日本赤十字社では、この災害に対し、即座に災害対策本部を設置して情報の収集・把握に努めるとともに、全国各地から医療救護班を参集させ、負傷者の救護活動にあたったほか、救援物資の配布等の活動に総力をあげて取り組んでおります。
 島根県支部におきましても、地震発生直後より松江赤十字病院、益田赤十字病院から医療救護班を被災地に派遣するとともに、毛布や緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、洗濯ロープや歯ブラシ等の生活用品がセットになっています)等の救援物資配布や、被災者支援のための義援金募集に努めております。
 こうした日本赤十字社の活動は、県民のみなさまに「赤十字社員」となってお寄せいただいております「社費」と「寄付金」に支えられています。誠に有難いことでございます。
 一方、平時においては、心肺停止の事態に遭遇した際に行う人工呼吸、心臓マッサージ、AED(自動体外式除細動器)による手当や介護技術、育児技術等を学んでいただく講習事業や、子どもたちの思いやりの心を育む「青少年赤十字」などの活動を行っております。
 こうした赤十字活動が今後とも十分に機能して参りますよう今年も運動月間である5月を中心に県内市町村の事務局と一体となって取り組んで参りますので、どうか温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページ <http://www.shimane.jrc.or.jp/> 日本赤十字社島根県支部 検索

赤十字は、みなさまからのご支援をたしかなカタチにします。

赤十字の活動は、みなさまからの資金協力により成り立っています。赤十字活動資金(社費[年額700円以上]・寄付金)にご協力ください。

災害救護活動

～一人でも多くの命を救うために～

東北関東
大震災の対応

被災地支援のため医療救護班を派遣



写真左：医療救護班を載せて被災地へ出発する島根県支部の救護車両
写真右：負傷者の診療を行う赤十字の医療救護班

日本赤十字社島根県支部では、地震発生直後より松江赤十字病院、益田赤十字病院から医療救護班を被災地に派遣するとともに、毛布や緊急セット(携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、洗濯ロープや歯ブラシ等の生活用品がセットになっています)等の救援物資配布や、被災者支援のための義援金募集に努めております。

国際救援活動

～186カ国の赤十字社が協力して、世界中の苦しむ人々を救います～

ニュージーランド地震救援



写真：毛布、水タンク、テント等の救援物資を輸送する現地赤十字社スタッフ
(c)New Zealand Red Cros



写真：現地赤十字社スタッフにより捜索活動が懸命に続けられました
(c)New Zealand Red Cros

2月22日にニュージーランド南島クライストチャーチ市を襲った地震では、多数の死傷者が発生し、中心部では多くの建物が倒壊するなど甚大な被害をもたらしました。ニュージーランド赤十字社は地震発生直後より災害対応チームを出動させ、医療救護や行方不明者の捜索・救助などの活動を行いました。

日本赤十字社においても、こころのケアチームを派遣し、現地の日本人被災者やそのご家族の不安やショックを和らげるためのこころのケア活動を実施したほか、被災地に滞在するご家族等の安否確認や救援金募集などの活動を行いました。

赤十字の講習会

～いのちを救う
技術と気持ちを高めよう～

第1回赤十字救急法競技大会を開催



写真：白熱した競技が繰り広げられました
(左：心肺蘇生法の部、右：三角巾包帯法の部)

2月19日(土)、県職員会館アリーナ(松江市)において、第1回赤十字救急法競技大会を開催しました。県内の企業・団体、町内会、赤十字ボランティア、青少年赤十字加盟校等から21チーム84人が参加し、人工呼吸・心臓マッサージ・AED(自動体外式除細動器)等の一連の手当からなる『心肺蘇生法』と、三角巾を使って耳・腕・膝のケガの手当をする『包帯法』の2種目の手当の技術を競い合いました。

青少年赤十字

～学校と赤十字がともに進める
教育プログラム～

隠岐と益田でトレーニングセンターを開催



写真：災害非常食作りに取り組む参加者
(益田会場)



写真：グループワークで赤十字マークのパズルに挑戦する参加者(隠岐会場)

赤十字を通して、リーダーシップやボランティア精神を育む青少年赤十字の研修プログラム『トレーニングセンター』を、隠岐の島町(昨年11月6日)と益田市(2月12日)で開催しました。参加者は、赤十字やボランティアについて学習したほか、災害非常食作りや救急法等のプログラムに取り組みました。

お知らせ 平成23年度

赤十字看護大学奨学生募集

当支部では、赤十字看護大学に入学された方を対象とした奨学生を募集しています。卒業後は島根県内の赤十字病院で就業し、地域医療や災害医療などの看護業務に従事いただけます。なお、奨学金は年額60万円の貸与となります。また奨学金の償還免除制度もあります。詳しくは以下までご相談ください。(募集期間 平成23年6月末日まで)

奨学金制度の詳細、お申込みは

日本赤十字社島根県支部 奨学金担当
電話 0852-21-4237 へお問い合わせください。

お知らせ 平成23年度

赤十字の講習会 開催予定

救急法 人工呼吸や心臓マッサージ等の救命処置、AED(自動体外式除細動器)の使用手当、傷の手当(止血・骨折時の固定)等

救急法基礎講習・救急員養成講習会

- 江津会場(江津工業高校 江工会館)・・・8/20(土)・21(日)・27(土)の3日間
- 松江会場(日本赤十字社島根県支部)・・・5/22(日)・28(土)・29(日)の3日間
9/3(土)・10(日)・11(日)の3日間
11/20(日)・26(土)・27(日)の3日間
- 益田会場(益田赤十字病院)・・・・・・・10/23(日)・29(土)・30(日)の3日間

*各会場共通：1日目に基礎講習、2・3日目に養成講習を行います。

出前講習(*) 随時

水上安全法 泳ぎの基本、溺れた人の救助と手当 等

水上安全法基礎講習・救助員養成講習会<プール>

- 松江会場(島根県立プール)・・・・・・・6/12(日)・18(土)・19(日)の3日間

*1日目に基礎講習、2・3日目に養成講習を行います。

水上安全法基礎講習・救助員養成講習会<海>

- 松江会場(松江市内の海水浴場 *場所は申込者に別途連絡します)
7/2(土)・3(日)の2日間

*この講習はプールでの講習を修了し、救助員資格を取得された方が対象です。

出前講習(*) 随時

健康生活支援講習 高齢期に備えての健康増進、介護予防、家庭での介護の方法 等

健康生活支援講習支援員養成講習会

- 松江会場(日本赤十字社島根県支部)・・・・・・・7/9(土)・16(土)の2日間
- 益田会場(益田市総合福祉センター)・・・・・・・6/4(土)・12(日)の2日間

出前講習(*) 随時

幼児安全法 幼児期におこりやすい事故の予防と対処法、かかりやすい病気と看護 等

幼児安全法支援員養成講習会

- 松江会場(日本赤十字社島根県支部)・・・・・・・6/18(土)・25(土)・7/2(土)の3日間
- 江津会場(江津市総合市民センター)・・・・・・・7/23(土)・30(土)・8/6(土)の3日間

出前講習(*) 随時

講習の申込みはホームページからもできます。

<http://www.shimane.jrc.or.jp/> (日本赤十字社島根県支部)

*出前講習について

時間や内容に応じた『出前講習』を行っています。希望される開催日の2ヶ月前までに連絡いただければ幸いです。

講習の詳細、お申込みは

日本赤十字社島根県支部 講習担当
電話 0852-21-4237 へお問い合わせください。